

本 会 記 事

1 昭和46年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会昭和46年度総会ならびに研究発表会は、11月17日に香川県農業試験場府中分場(坂出市)において開催され、約100名が出席しました。

(1) 総 会

午前9時半から開会され、昭和45年度会務報告が承認された後、昭和46年度事業計画ならびに予算が上程され、原案どおり承認されました。

(2) 協 議

午前10時半から行なわれました。第1議題として“果樹病虫害防除の問題点”をとりあげ、①カンキツ病虫害の薬剤防除の問題点(徳島県試 賀川実・大和浩国)、②スプリンクラー利用による病虫害防除(香川農試府中分場 寺岡義一)、③ミカンの貯蔵・腐敗の防止について(愛媛県試 大森尚典)、④ミカンの黄斑病(高知県庁 宮脇雪夫)の4項目について意見交換が行なわれました(カッコ内は話題提供者)。第2議題“昭和47年度病虫害防除方針設定上の問題点と対策”は、各県の主要問題を出し合い、意見を交換しました。なお、昼休みを利用して、府中分場果樹園のスプリンクラーを見学しました。

(3) 研究発表会

午後2時から、つぎの8題の発表が行なわれました。

葛西辰雄・尾崎幸三郎*：イネの穂揃期におけるツマグロヨコバイの被害

川原幸夫*・桐谷圭治：農業無散布水田におけるクモ種類相の年変動

永井洋三：調査用光源と予察灯

上田 進：キュウリ小斑細菌病様症状と防除について

倉田宗良・斉藤 正*：ピーマンうどんこ病菌の孢子形成について

松本益美・吉岡幸治郎*：ハスモンヨトウの生存率調査について

山中久明：クロロフェナミジン剤の低濃度散布によるハスモンヨトウふ化幼虫集団の分散効果

小山光男：ハスモンヨトウの交尾時間・回数とフェロモントラップへの飛来について

(*は演者)

2 明年度総会

昭和47年度の本会総会は、本年秋、四国農試において開催の予定です。

3 死 去

本会会員 清家義昭氏(愛媛県)は、昭和47年6月14日、逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。